

## 補助事業概要の広報資料

補助事業番号 26-1-115

補助事業名 平成26年度学術・文化の振興のための活動 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 さいたま映像ボランティアの会

### 1. 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

映画の第3次革命と称されるデジタルシネマにフォーカスしたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭を開催する。世界各国から作品を募集し、第一次審査を経てノミネートされた作品を、4Kデジタルシネマプロジェクターによる最高クラスの上映環境で上映し、国内外の映画業界の第一線で活躍するエキスパートから選ばれた審査員が優秀作品を選んで表彰する。当映画祭の開催を通じ、未来の映像業界を担う若い才能を発掘・育成し、また、地域の住民が良質且つ最先端の映像文化に触れる機会を提供する。これにより、個性豊かな地域文化の創造と活力ある地域の発展を実現するとともに、21世紀の映像文化の健全な発展を図り、もって公益の増進に寄与することを目的とする。また、地元川口市のオートレース事業を映画祭来場者に広くPRし、レジャースポーツとしての理解の増進を図り、オートレース事業の一層の発展への寄与も目指す。

(2) 会 期：2014年7月19日（土）～27日（日）

(3) 開 催 地：SKIPシティ（埼玉県川口市上青木3-12-63）

大宮ソニックシティ（埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5）



#### (4) 実施内容

##### ア. Dシネマの潮流(オープニング上映)

映画祭は、オープニングセレモニーに続き、『サンシャイン／歌声が響く街』の日本プレミア上映で幕を開けた。80年代の名曲に乗せて贈る大ヒットミュージカルの映画化である。なお、劇場公開は8月1日の予定。

##### イ. コンペティション部門

- ・ 当映画祭のメインプログラムである。本年度は、これまでの長編・短編両部門に加え新たにアニメーション部門を設けた。世界から公募した長編部門は84の国と地域から536本(うち国内59本)、国内のクリエイター発掘を目的とする短編部門とアニメーション部門は各128本と63本のエントリーがあった。
- ・ 16名の一次審査委員が、映画祭で上映する作品の選考に当たり、海外長編9作品、国内長編3作品、短編12作品、アニメ14作品をノミネートした。選ばれた作品は映画祭で各2回ずつ上映し、新藤次郎氏(映画プロデューサー)を委員長とする国際審査員、梶井省志氏(映画プロデューサー)を委員長とする短編審査員、佐藤充氏(クリエイターズカレッジ長)を委員長とするアニメーション審査員による厳正な審査を行った。
- ・ 長編は、最優秀作品賞、監督賞、脚本賞、SKIPシティアワード各1作品、短編とアニメーションは、各々最優秀作品賞1作品と奨励賞2作品を選定し、トロフィー・賞状・賞金を贈って表彰した。なお、SKIPシティアワード受賞者には、次回長編制作時の支援を行う。受賞作品は次の通りである。
  - 【長編】最優秀作品賞 『約束のmatterホルン』(オランダ)、監督賞 『螺旋銀河』(日本)、脚本賞 『彼の見つめる先に』(ブラジル)、SKIPシティアワード 『螺旋銀河』(日本)。
  - 【短編】最優秀作品賞 『押し入れ女の幸福』、奨励賞 『ネクタイと壁』、『帰ろうYO!』。
  - 【アニメーション】最優秀作品賞 『夕化粧』、奨励賞 『Airy me』、『就活狂想曲』。
- ・ 観客人気投票では、長編は『青、そして少しだけピンク』(ベネズエラ・スペイン)、短編は『帰ろうYO!』、アニメは『就活狂想曲』が1位に選ばれた。



ウ. 招待作品等

- (a) シネマ歌舞伎…坂東玉三郎主演の『高野聖』（作：泉鏡花）を上映、熱心な歌舞伎ファンで例年同様の満席となった。
- (b) 特別上映…秩父市を舞台の『劇場版 あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない』を上映。
- (c) バリアフリー上映…『永遠の0』（日本語字幕+音声ガイド付）

エ. 大宮ソニックシティサテライト上映…アニメ部門新設に伴い開催。『アニメの聖地＝埼玉』と題するトークショーや『劇場版 あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない』の上映及びパネル展示等。

オ. 野外映画会…3夜連続で開催。初日は夕立の為に映像ホールでの上映となったが、3日間を通じ大勢の家族連れで賑わった。

カ. 関連企画

- (a) カメラクレヨン～子供たちが作った映画がいま面白い～（「川口子ども映画クラブ」制作作品）
- (b) コバトンTHEムービー新作上映&トークイベント
- (c) アニメDAY特別イベント『ケロロ軍曹誕生の秘密』（アニメ・クリエイター向けの上映とトークショー）
- (d) 企画マーケットinSKIPシティ（若手クリエイターの企画プレゼとビジネスマッチングに向けたアドバイス）

カ. 関連イベント（SKIPシティ夏祭り）

ふれあいイベント、盆踊り、夜店、ビアガーデン、映画音楽の夕べ、一日動物村、移動水族館、ベーゴマ教室、野菜ソムリエ、地震体験、地元特産品販売、リングに賭ける青春、オートレースPRコーナー等。シネマカフェ、臨時保育サービス。



#### キ. コンペティション部門入賞作等上映会

9月21日、映画美学校試写室(東京都渋谷区)で開催。上映作品は、長編は観客人気投票第一位の『青、そして少しだけピンク』、短編は入賞作3本である。

#### (5) 成果

- ・ 長編コンペティション部門(海外)応募作品数  
477作品(目標 430作品/前回 444作品)
- ・ 国内長編コンペティション部門(国内)応募作品数  
59作品(目標 55作品/前回 58作品)
- ・ 短編コンペティション部門応募作品数  
128作品(目標 120作品/前回 159作品)
- ・ アニメーション・コンペティション部門応募作品数  
63作品(目標 35作品/前回 0作品)
- ・ 総観客数 9,104名(目標 8,500名/前回 10,043名)
- ・ 総来場者数 53,749名(目標43,000名/前回50,570名)
- ・ 応募国数 84の国と地域(前回 80の国と地域)

## 2. 予想される事業実施効果

- ・ 世界で初めてデジタルシネマにフォーカスした国際映画祭。デジタルシネマの普及・発展に当映画祭が果たした役割は高く評価されてよい。
- ・ 当映画祭は、デジタルシネマの特性・強みを背景に若手映像クリエイターの発掘・育成に地道な努力を重ね着実な成果をあげてきた。当映画祭を巣立った多くのクリエイターが国内外の映画界・映画祭に活躍の場を拓げ、若手の登竜門としての評価は高まっている。
- ・ 当映画祭は又、地域に支えられ地域と共に歩んだ映画祭である。今後とも地域と手を携え、真に日本を代表する映画祭を目指したい。
- ・ 映画祭の発展を基盤に、地域における先端映像産業の発展と映像を中心とする地域文化の振興を図り、“Dシネマのメッカ”“実現による地域の活性化に貢献したい。

### 3. 本事業により作成した印刷物

開催告知ガイド(和文) A2  
 開催告知ガイド(英文) A2



開催告知ポスター B1  
 開催告知ポスター B2  
 開催告知ポスター B3



シネマロードイベント・チラシ



公式プログラム



#### 4. 事業内容についての問い合わせ

団体名： 特定非営利活動法人 さいたま映像ボランティアの会

住所： 333-0845

川口市上青木西1-20-3 産業文化会館206

代表者名： 理事長 田中 一成（タナカ カズナリ）

担当部署： 本部（ホンプ）

担当者名： シニア・コーディネーター 井上 宏（イノウエ ヒロシ）

電話番号： 048-259-3421

F A X： 048-253-1305

E-mail： [eizov@bf7.so-net.ne.jp](mailto:eizov@bf7.so-net.ne.jp)

U R L： <http://www.eizov.com/index.php>

<http://www.skipcity-dcf.jp/>